opusdei.org

## 年間第6週・火曜日 47. 教会の救霊の務め

年間第6週・火曜日47.教会の救霊の務め一教会はイエスが創設した救いの場。一教会のための祈り一私たちは、洗礼によって、自分の占めて対霊のための道具として建てられた。

2024/04/09

年間第6週・火曜日

47. 教会の救霊の務め

- 教会はイエスが創設した救いの場。
- 教会のための祈り
- 私たちは、洗礼によって、自分の 占めている場で救霊のための道具と して建てられた。

47. 1 救いがあるところ、それは…イエス・キリストに創設された 教会

ている」。そして、悪い行いのため に人類の残りが神に罰せられる洪水 が起こりました。教父はノアに、新 しい創造の始まりであるイエス・キ リストの模範と姿を見ました。箱舟 の中で、彼らは教会のイメージを垣 間見ました。この地上の水の中に浮 かび、救われたいと望むすべての 人々をその中に匿います<sup>2</sup>。 聖アウ グスチヌスは続けて言います。「洪 水で正しい人が救われた箱舟の象徴 には、未来の教会が予言されていま す。教会は、キリストと十字架の贖 いをとおして、この世の死から救い ます」<sup>3</sup>。ノアの箱舟は救いの場所 です。また、聖アウグスチヌスは続 けています。「箱舟に助けられた 人々は未来の教会の神秘を表してお り、十字架の木によって引き起こさ れる災難から救われます」⁴。洪水 から箱舟に助けられた正しい人のグ ループは、未来のキリストの共同体 の前表ですっ。

慰め、癒し、教えなどの善を行うた めに、キリストの生涯を真似て方々 (ほうぼう)を巡り歩く<sup>7</sup>教会は、どこ にあっても善を行うよう努めていま す。歴史をとおして、教会には、人 類を苦しめる悪を贖い、窮地にいる 人々、病気の人々、避難民などに、 人間的援助をしょうと進んで手を差 し伸べる精神に満ちたキリスト信者 たちと様々な教会の組織が多くあり ました。この人間的援助は素晴らし く、これからもいつでもその素晴ら しさは変わらないでしょう。しか

## 47. 2 教会のための祈り

普遍教会への奉仕の仕事を執り行う ローマ教皇の必要のために、そして 教皇に一番近い協力者が支える助け のために祈ることが、私たちの日々 の一番の関心事になるはずです。

「主よ、永遠から永遠に至るまで彼 に憐れみを注いでください。主はご 自分を愛するすべての人を守ってく ださいます | °。 典礼は私たちがこ う願うように命じています。キリス トの代理者であるローマ教皇は、す べての人の父としての心使いをする ことで、押しつぶされそうな重荷に 耐えなければなりません。新聞や他 のメディア、信仰の敵から受ける反 対がどんなものであるかを理解する ことは難しくありません。神の現存 のうちにそのことについて考えるな ら、キリスト信者の使徒的熱意をひ どく嫌う人々、また、教皇が絶えず 励ましておられる宣教の仕事に反対 する人々によって及ぼされる圧力に もっと気づくようになります。私た ちは祈りの中で、神が、ローマ教皇 を守ってくださるように、そして教 皇に神の生命を吹き込み、教皇を神 聖なもの、賜物に満ちさせてくださ いと熱烈に願います。

今日のミサの福音<sup>10</sup>で、主は弟子たちに目覚めているように、ファリサイ人とヘロデの狡猾な影響、主はそ

れを「パン種」、ファリサイ人とへ ロデのパン種と呼ばれますが、それ に気をつけるよう警告されます。主 は弟子たちがそうであるに違いない 良い「パン種」のことを言われてい るのではなく、内側からパンを変え てしまう他のパン種、つまりそのパ ンをだめにしてしまうパン種につい て話されています。自分の個人的な 望みだけを求めているファリサイ人 の偽善行為とヘロデの乱れた生活 は、イスラエルの民を悪に染めてし まい堕落させた悪いパン種だったか らです。

神に背を向けてしまっているけれども、教会が救うことのできるこの世の只中で、キリスト信者がパン種の役目を果たすことができるよう、たち日祈るという喜ばしい義務が私たちにはあります。今は試みの時で、は目的のためには試練をもたらすははであると、絶えず声をからしてイザヤ58・1参照)、願わなけれ

ばなりません。私たちは神が憐れみのを見るように、教会を見るように、教会を見るように者の忠さである。 な者とすべてのキリスト信者のこれでは母に超自然的光を再び与えてなけるとはの表するとはの表されてのもません。教会は明されるとはできません。できません。できません。できません。できません。できません。できません。ないます。母は愛されなければなりません。母は愛されなければなりません。母は愛されなければなりません。12。

質が落ちた教義と批判的なことをされることをされたちによっていう堕というでは、悪魂に大教義には大きな種は、間違った教表に直をします。間違った教表に直が出ます。間違った状のの正とが、るいないないがではないがではないがではないができないがですがですができる。大たちがイエス・キリスト

の教えを知るのを助けることができるよう何をしていますか? 教会のためにどのような祈りと犠牲を捧げていますか?

多くの人々は神の教会のすべての牧 者のために、ミサ、ロザリオなど で、教皇と司教に一致して毎日祈り ます。私たちもそうすべきです。属 する教区司祭のために祈るための、 信者が使うことのできる非常に古い 祈りがあります。「主よ、彼が主の 強さと至高なる聖名に留まり、牧す ることができますように |。教会の 牧者は、その使命を遂行するため に、常に神の助けを沢山必要として います。私たちには彼らを助ける責 任があります。そのため、神に彼ら を支え、信者の世話を天国からの神 的な剛毅と優しさ、崇高な知恵を もってできるように助けてください と願います。

毎日ごミサの中で、(例えば、第一 奉献文では)司祭は次のように祈り ます。「いつくしみ深い父よ、…い まつつしんでお願いいたします。… わたしたちは、まず聖なる全教会の ため、これをあなたにささげます。 全世界で教会に平和を与え、これを 守り、一つに集め、治めてくださ い。また、私たちの教皇、私たちの 司教、使徒からの同じ信仰を伝える すべての人のためにささげます l <sup>1</sup> <sup>3</sup>。このようにして教皇と司教の意 向を思い出します。私たちは司祭と 修道者、そして神の民全員のために 祈ります。また、キリストの神秘体 の中で最も貧しい人々のためにも祈 ります。このようにして諸聖徒の交 わりの信条を自然なやり方で生きて いるのです。

47. 3 洗礼によって、私たちは自分の置かれた環境で救いの道具になりました

神の民に再び活力を与えることにつ いての忠告を願った聖ヨゼフ・レオ ナルディが、教皇パウロ五世に書い た手紙にこう記しています。「この 救いに関して、どの教会でも同じで なければならないのですが、私たち はまず、直接に霊魂(人々)の世話を 任されている人たちに注意を払わな ければなりません。このように、刷 新は、神秘体の他の部分にまで広ま ることが可能なところから始まりま す。たとえば、主の民を治めること を安心して委ねるために、霊魂の世 話を任されている枢機卿、総大司 教、大司教、司教、教区司祭たちが 存在することを保証するために、多 大な努力がなされなければなりませ ん | <sup>14</sup>。私たちもまた、毎日司牧者 たちの聖性のために祈りを止めるべ きではありません。模範となるよう 祈るのです。彼らがご聖体におられ るイエスにさらに深い愛を持つよう に、いつもより深い信心をもって聖 母に祈るように、彼らが強く、慈悲

深くなるように、力と愛に満たされるように、病に伏す人々を大きな愛で愛するように、「カテキズム」の教えを丹精こめて大事にし、離脱と節制を伝えるために多大な注意を払うように祈ります。

しかし、洗礼を受けた私たちも教会 です。ごミサ、念祷、一日中神の現 存を保つという宗教上の義務を忠実 に果たしてキリストと一致しようと 努めるとき、ローマ教皇と教区の司 教の意向に一致するとき、職業上、 家族、市民の義務を模範的に実行す るとき、私たちの生活の場である 種々の関係の中で行う使徒職に従事 するとき、私たちは皆、他の人々を 救うための道具になります。この使 徒職は、道で見つける悪魔の蒔いた 毒麦が多くなればなるほど、主が話 された悪いパン種の効力にもっと はっきりと気づけば気づくほど、さ らに緊急なものになります。

信仰を増しましょう。第二バチカン 公会議が教えるように、神の民は世 界全体にまで及んで、離散し混乱し たすべての人々をひとつに集めなけ ればなりません。そのために神は御 子を遣わして万物の世継ぎとし、私 たちの師、司祭、王15となさったの です。今日はキリストの王位を宣言 する詩編2を思い起こし、父である 神にお願いしましょう。主の支配な さる人々の数が増えますように。教 会憲章が教えるように16、教会に も、すべての国が遺産として与えら れているからです。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> First Reading, Year1,Gen 6: 5 - 8; 7:1-5, 10

<sup>2</sup> 使徒言行録 2・40

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> 聖アウグスチヌス, De catechizandis rudibus, 18

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> 聖アウグスチヌス,De catechizandis rudibus,2 7

- M. Schmaus, Dogmatic Theology, vol.IV
- <sup>6</sup> マタイ 28・18-20
- 7 使徒言行録 10・38 参照
- <sup>8</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『教 会を愛する』 10
- Enchiridion Indulgentiarum, 1 98 6, Aliae concessiones, n.39
- 10マルコ8・14-21
- <sup>11</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『教会を愛する』 28
- <sup>12</sup> ヨハネ・パウロ二世 説教 1982年 11月7日
- 13 ローマ典礼文 (第一奉献文)
- 14 聖ヨハネ・レオナルディ, Letters to Pope Paul V for the eform of the Church

<sup>15</sup> 第二バチカン公会議 教会憲章 1 3

<sup>16</sup> 第二バチカン公会議 教会憲章 1 3 参照

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VI-ka/ (2025/12/14)